

4 5 日間の夏休み中、大きな怪我や事故の報告もなく、今日、皆さんが元気な姿で「2 学期始業式」が迎えられたこと、校長として一番の大きな目標の達成に心から嬉しく思います。ただ、全国に目を向けると、地震や豪雨により被災された方々がたくさんいます。突然の日常の変化や、大切なものを失う悲しみは、私たちの想像をはるかに超えるものです。私たちがこうして安全な場所で学び、笑い合えることは、決して当たり前ではないということも認識しておく必要があります。

さて、今日から 2 学期が始まりますが、1 学期の終業式で、『未来は今日の中にある、「いつやるか？ 今でしょ！」ぜひ、意識をもって有意義な夏休みにしてください。』という話をしました。皆さんはこの夏休み、元気で充実した毎日を過ごすことができたでしょうか。

そこで、今日の式辞は、「自己決定」という話をします。「人生は選択の連続である。」という言葉があります。これは、劇作家シェイクスピアの言葉と言われていますが、ある研究によると、私たちは一日に最大 3 万 5 千回もの選択をしているそうです。明日は何時に起きようか、今日はどの色の靴下にしようか、家に帰ったら押しのユーチューブを見よう、といった何気ないことを含め、私たちは日々多くの選択をしています。そういった選択、決定の積み重ねが現在の自分をつくっているのです。

「自己決定」とは、自分の行動や考え方を、自分の意思で選び取ることです。もちろん、時には先生や家族のアドバイスを受けることも大切です。しかし、最終的に「どうするか」を決めるのは、他の誰でもない、皆さん自身です。

例えば、部活動での練習メニュー。「言われたからやる」のと、「自分で必要だと思ってやる」のとでは、同じ練習でも成果が大きく変わり

ます。自分で決めたことは、責任を持って取り組むことができますし、結果が良くても悪くても、その経験は必ず自分の力になります。ある心理学の研究では、自分で選んだ課題に取り組む人は、与えられた課題に取り組む人よりも、集中力も持続力も高いという結果が出ています。つまり、自己決定は「やる気の源」でもあるのです。

2 学期は、運動会や合唱フェスティバル等の行事、そして日々の授業や部活動など、多くの場面で選択の機会があります。そのとき、「どうすれば自分も周りもよりよくなるか」を考え、自分の意思で行動してみてください。

そして、3 年生。進路選択・進路決定の重要な時期にも入っていきます。先日、今年度の全国学力・学習状況調査の結果が返ってきました。お世辞にもいいとは言えない。むしろ、学校として危機感を感じています。このような状況で、希望どおりの進路となるのか。このことは、3 年生だけではなく、1・2 年生にも言えること。今の自分は、これでいいのか、しっかり見つめ直して下さい。

皆さんの中学校生活は、これから多くの選択の連続です。その一つひとつを「自分で決める」ことで、皆さんは確実に成長していきます。2 学期は、ぜひ「自己決定する自分」を意識して過ごしてください。

自分で決め、自分で動き、自分で未来をつくる。その積み重ねが、皆さんを大きく成長させると、私は信じています。

さあ、忙しい2 学期の始まりです。港南中の生徒と先生方全員が、元気でわくわくする2 学期となることを願って、2 学期始業式の式辞とします。